

2021 年度末報告書（実行団体）

- 提出日： 年 月 日
- 事業名： 「居場所の包括連携によるモデル地域づくり
 一 支え合う地域、災害に強い地域、資源の地域循環の一体的実施一」
- 資金分配団体： 認定 NPO 法人全国子ども食堂支援センターむすびえ
- 実行団体： 社会福祉法人坂井市社会福祉協議会
- 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無： 有 無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
活動団体がつながる場所をつくることで 各団体の活動の幅が広がる 新たな居場所が増加する 分野横断の多様な居場所が創設される 活動団体のネットワークが強化される	居場所サミットの開催回数(定量的指標)	発信媒体（+コミセンや学校の広報掲載、社協 YOUTUBE やインスタグラム 等） 地域問題の我が事化（意識の変化） 日常生活圏域でのサミット実施 1回ずつ 市域でのサミット開始 2回/2年間 子ども食堂連絡会 2回/年間 イベント時の意識アンケート 2回/年間	令和6年3月	子ども食堂連絡会実施（隔月）	1
	参加者数（定量的指標）			社協だよりに取り組み掲載	2
	団体活動の変化（定性的指標）			福祉委員会にて意識調査（1回）	2
	活動に対する思い（定性的指標）			（子ども食堂）新規立ち上げ検討 団体 +2団体	2
	子ども食堂連絡会の立ち上げ(定量的指標)			新たな居場所資源の創出	2

地域問題について考える機会をつくることで無関心層が地域課題について興味を持つ 地域内の福祉関心者が増加する	地域(問題)への関心度の変化(定性的指標)	地域課題話題提供回数 6地区/年間	令和6年3月	地区福祉委員会にて情報提供(1回)	3
	参加や居場所に対しての思い(定性的指標)				
	地域課題発信回数(定量的指標)				
地域の社会資源の見える化することで作成過程が住民の福祉教育につながる 必要な資源にアクセスしやすくなる	資源の可視化数(定量的指標)	発信媒体(+コミセンや学校の広報掲載、社協 YOUTUBE やインスタグラム 等)) ホームページの随時更新 団体活動パネル展 4回/年間	令和6年3月	学生を交えた可視化(フィールドワーク、マッピング)	2
	可視化過程参加者数(定量的指標)			社協だよりに取り組み掲載	2
	可視化発信媒体(定量的指標)				
地域の企業とつながる場をつくることで企業が地域の応援団になる 企業からの寄付などが増加し団体の活動資金につながる	企業との勉強会実施回数(定量的指標)	新規協力企業 5社増加(年間) 企業とのネットワーク交流会 1回/年間 企業主催の勉強会への参画 随時	令和6年3月	地域企業との情報交換	3
	参加者数(定量的指標)			企業勉強会への参加(1回)	3
就労困難者の就業機会を確保することで就労を通じた社会参加につながる 一般就労になじまない方が就労の機会ができる	就業マッチング数(定量的指標)	就業マッチング 10件(年間) 就労困難者への企業理解がすすむ	令和6年3月	就労体験モデル実施	3

* 進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A: 変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
子ども食堂連絡会の立ち上げ、継続実施：身近な地域でのネットワークの構築ができた。継続開催することで団体間のつながりが強まった。 地域資源の可視化：学生がフィールドワークを通じて資源をインタビューし、それをマップに落とし込む作業を行った。 バックアップする職員の育成：ファンドレイジング研修、DX化研修。

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

オンラインを活用するなど、一斉中止ではなく実施できる方法を模索した

② 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況

- 自団体のウェブサイトに表示している 広報制作物に表示している
報告書に表示している イベント実施時に表示している その他
→「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：

2. 広報

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）

社協だよりに掲載（R4.1.25発行）坂井市内全戸配布（29,700部）

<http://www.sakaicityshakyo.jp/20210125/>

2.広報制作物等

3.報告書等

理事会、評議員会資料に記載し取り組みを啓発

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。

- 完了 整備中

2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。

全て公開した 一部未公開 未公開

→ 「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：

3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。

はい いいえ

→ 「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。

はい いいえ

→ 「いいえ」を選択した場合の理由：

2. 内部通報制度は整備されていますか。

はい いいえ

→ 「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：内部に窓口を設置 外部に窓口を設置 JANPIA の窓口を利用

3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。

はい いいえ

→ 「いいえ」を選択した場合の理由：

4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか

はい いいえ

→ 「いいえ」を選択した場合の理由：

5. コンプライアンス委員会は定期的を開催されていますか。

はい いいえ

→「いいえ」を選択した場合の理由：

社会福祉法人に適用される法令・指針を遵守していることにより、適切なコンプライアンス体制は整備されていると、契約時に資金分配団体により判断されております。そのため、休眠預金事業を行うに伴い、コンプライアンスに関する規定の新設、及び、コンプライアンス委員会の新規組成は行っておりません。また、「①法令・指針を遵守すること、②法令・指針と同等の体制を契約時点で整備し、今後も維持し続けること、③休眠預金事業を遂行するにあたり必要だと判断する場合に、規程を新設すること」について誓約した「一部規程類の取扱いについて」を資金分配団体との間で締結しております。

6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。(実施済みの場合含む)

内部監査を実施 外部監査を実施 実施する予定がない

→「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3~4枚程度）



第2回 坂井市子ども食堂サロン 当日レター

2022.3.27(土)坂井市社会福祉本部 坂井市社会福祉協議会発行

市内6団体の子ども食堂のみなさんが情報交換を行いました
むすびえのみなさんもお参加いただきました！

本日の参加団体：子ども食堂スマイル、えがが子ども食堂、子ども食堂はあとの笑ふれあい食堂さべ丸、大開窓開けつくり～みんないっしょに～
いこいの家 さっす (計6団体 11名の参加)

今日の意見抜粋

- ◆ 小中学生と一緒に考えてほしい
- ◆ 高齢者も来てほしい、楽しんでもらいたい
- ◆ いな
- ◆ 家族の役にたつ子どもになってほしい
- ◆ いろんな団体とつながっているイベントも増えてきて
- ◆ 子どもたちと定期的な交流をつくる
- ◆ 地域の企業に活動する場を作ってほしい
- ◆ やっている人が忙がっているやみんなに知ってもらう
- ◆ 学生ボランティアが関わってくれるといいな

市内子ども食堂啓発のための動画制作プロジェクトも進めていくことになりました